

平成21年12月期 第1四半期決算短信

平成21年5月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ナカニシ

コード番号 7716 URL <http://www.nsk-nakanishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 英一

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 駒田 裕一

TEL 0289-64-3380

四半期報告書提出予定日 平成21年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第1四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第1四半期	4,716	—	1,184	—	1,641	—	1,239	—
20年12月期第1四半期	5,972	7.6	2,260	8.5	1,680	△21.9	1,055	△19.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第1四半期	198.63	—
20年12月期第1四半期	151.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第1四半期	32,125	26,152	81.2	4,181.33
20年12月期	30,110	25,344	84.1	4,059.74

(参考) 自己資本 21年12月期第1四半期 26,086百万円 20年12月期 25,327百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	—	—	80.00	80.00
21年12月期	—	—	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,530	△28.4	1,780	△58.1	1,860	△55.4	1,356	△48.3	217.35
通期	17,810	△22.6	4,020	△48.6	4,120	△36.6	2,740	△29.5	439.19

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 2社 (社名 NSK-NAKANISHI DENTAL SPAIN S.) 除外 1社 (社名
A.及びNSK OCEANIA PTY.LIMITED)

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第1四半期	6,983,960株	20年12月期	6,983,960株
---------------------	--------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数	21年12月期第1四半期	745,196株	20年12月期	745,162株
-----------	--------------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年12月期第1四半期	6,238,785株	20年12月期第1四半期	6,971,251株
----------------------	--------------	------------	--------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の経済環境は、昨年のサブプライムローン問題を発端とする世界的な金融危機が実態経済への悪影響を拡大させ、日本におきましては、輸出の急減や大幅な生産調整等により企業収益の悪化が深刻化し、設備投資及び個人消費の低迷が続いております。海外におきましては、欧米のみならずアジア地域においてもグローバルな需要の減少により経済成長の大幅な減速がみられました。

このような国内外の厳しい経営環境の中、海外販売割合の高い当社グループは、世界的な景気減速に加え、円独歩高による輸出競争力低下を背景に全てのセグメントで需要が低迷し、当第1四半期連結会計期間の売上高は4,716百万円に留まりました。一方、前期末の急激な円高も落ち着きを見せたことにより為替差益401百万円の計上等により経常利益は1,641百万円、加えて従業員に対する養老保険の満期返戻による特別利益303百万円の計上等により四半期純利益は1,239百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(歯科製品関連事業)

市場の需要減に伴う売上の減少に加えて、外貨建売上高の円換算額が円高ドル安ユーロ安に伴い減少いたしました。また、欧州においては、独集中倉庫が稼動したことに伴い、欧州代理店が保有する在庫削減を進めております。この結果、売上高は、4,207百万円、営業利益は、1,697百万円となりました。

(工業製品関連事業)

景気の落ち込みを背景として、国内外で企業の大幅な生産調整や設備投資意欲の減少により、当社の製品需要も大きく減少しました。この結果、売上高は、343百万円、営業利益は、109百万円となりました。

(その他事業)

修理等サービスは、景気減速の状況では、買い替えのサイクルが長引く傾向から、修理等が増加する傾向にあります。この背景から売上高は、165百万円、営業利益は、46百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

軟調なところに加えて昨年独国に集中倉庫を新設したことに伴い、従来日本から輸出していた部分の一部を欧州子会社を経由しての販売に変更したことなどにより売上高は減少いたしました。これらの結果、売上高は、3,151百万円、営業利益は、834百万円となりました。

(北アメリカ)

米国における歯科製品関連事業において昨年からは開始したカナダ市場の販売が売上の嵩上げとなり、売上高は、275百万円、営業利益は、45百万円となりました。

(ヨーロッパ)

当連結会計年度より、独集中倉庫から欧州市場に販売する商流変更を行ったこと、また、連結子会社であるNSK UNITED KINGDOM LIMITED (英国) 及びNSK-NAKANISHI DENTAL SPAIN S.A. (西国) が軌道に乗りつつあることから売上高は増加しております。これらの結果、売上高は、1,077百万円、営業利益は、216百万円となりました。

(アジア)

現地販売は増加しているものの、中国元に対しても円高は進んだことから、売上高は、124百万円、営業利益は、10百万円となりました。

(その他)

NSK OCEANIA PTY. LIMITEDが、新規に連結されたことによりセグメントの追加となりました。売上高は、88百万円、営業損失は、2百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、2,190百万円増加し、20,158百万円となりました。これは、現金及び預金が2,017百万円増加、有価証券が359百万円増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、175百万円減少し、11,967百万円となりました。これは、従業員に付保している養老保険の満期に伴い保険積立金が215百万円減少したことなどによるものであります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、2,014百万円増加し、32,125百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、1,491百万円増加し、4,537百万円となりました。これは、短期借入金が1,248百万円増加したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、283百万円減少し、1,435百万円となりました。これらは長期借入金のうち1年内返済予定分を短期借入金へ振替えたことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、1,207百万円増加し、5,972百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、807百万円増加し、26,152百万円となりました。これは、主として利益剰余金が828百万円増加したことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、依然として世界経済の先行き不透明感が強く、急激な円高環境下にあることから受注への影響を危惧しているところであります。しかしながら、3月にドイツで開催されましたIDS2009(国際デンタルショー)では、発表した新製品が好評を得るなど明るい兆しも見られております。

なお、現時点において、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成21年2月12日に公表しました数値から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

前連結会計年度では、非連結子会社であったNSK-NAKANISHI DENTAL SPAIN S.A.及びNSK OCEANIA PTY. LIMITEDについては、重要性が増した為、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準

当連結会計年度の当第1四半期連結会計期間から平成18年7月5日公表の「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、主として総平均法による原価法から主として総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金調整前四半期純利益は、それぞれ189,316千円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

③ 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い

当連結会計年度の当第1四半期連結会計期間から平成18年5月17日公表の「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

当社の機械装置の耐用年数については、法人税法の改正を契機として見直しを行い、従来、耐用年数を12年としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より7年に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

5 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,519,554	7,502,067
受取手形及び売掛金	2,947,405	3,140,230
有価証券	1,437,937	1,078,145
商品及び製品	1,933,302	1,871,016
仕掛品	1,769,915	1,940,811
原材料及び貯蔵品	1,625,602	1,726,958
繰延税金資産	533,198	385,832
その他	400,390	331,891
貸倒引当金	△8,894	△9,115
流動資産合計	20,158,413	17,967,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,791,018	3,771,239
機械装置及び運搬具	1,758,012	1,729,869
工具、器具及び備品	1,688,373	1,610,662
土地	855,289	850,707
建設仮勘定	119,755	85,777
減価償却累計額	△4,243,811	△4,108,383
有形固定資産合計	3,968,636	3,939,873
無形固定資産		
ソフトウェア	169,872	185,095
ソフトウェア仮勘定	241,547	185,123
のれん	118,288	127,782
その他	16,559	16,681
無形固定資産合計	546,267	514,683
投資その他の資産		
投資有価証券	4,472,727	4,447,598
関係会社株式	9,096	158,033
関係会社出資金	3,246	3,199
保険積立金	1,672,841	1,888,352
長期預金	500,000	500,000
繰延税金資産	624,984	524,960
その他	171,331	168,020
貸倒引当金	△2,094	△2,094
投資その他の資産合計	7,452,133	7,688,070
固定資産合計	11,967,038	12,142,627
資産合計	32,125,451	30,110,465

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	454,075	391,577
短期借入金	2,323,104	1,074,928
未払法人税等	813,383	539,266
賞与引当金	80,120	—
その他	867,023	1,040,859
流動負債合計	4,537,708	3,046,632
固定負債		
長期借入金	838,448	1,141,990
繰延税金負債	2,553	2,366
退職給付引当金	279,231	269,103
役員退職慰労引当金	308,325	305,500
その他	6,511	—
固定負債合計	1,435,071	1,718,960
負債合計	5,972,779	4,765,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,163,548	1,163,548
利益剰余金	31,934,266	31,105,640
自己株式	△7,420,857	△7,420,684
株主資本合計	26,544,906	25,716,453
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△176,719	△39,385
為替換算調整勘定	△281,876	△349,139
評価・換算差額等合計	△458,596	△388,524
少数株主持分	66,362	16,944
純資産合計	26,152,671	25,344,872
負債純資産合計	32,125,451	30,110,465

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)
売上高	4,716,397
売上原価	2,007,397
売上総利益	2,709,000
販売費及び一般管理費	1,524,812
営業利益	1,184,187
営業外収益	
受取利息	30,328
受取配当金	30
生命保険解約返戻金	28,657
為替差益	401,077
雑収入	6,168
営業外収益合計	466,262
営業外費用	
支払利息	4,654
雑損失	4,371
営業外費用合計	9,026
経常利益	1,641,424
特別利益	
貸倒引当金戻入額	690
生命保険解約差益	303,582
特別利益合計	304,273
特別損失	
投資有価証券評価損	25,000
特別損失合計	25,000
税金等調整前四半期純利益	1,920,697
法人税、住民税及び事業税	811,227
法人税等調整額	△127,975
法人税等合計	683,252
少数株主損失(△)	△1,734
四半期純利益	1,239,180

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,920,697
減価償却費	145,046
のれん償却額	9,494
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△690
賞与引当金の増減額(△は減少)	80,120
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,128
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,825
受取利息及び受取配当金	△30,359
支払利息	4,654
生命保険解約返戻金(△は益)	△332,239
投資有価証券評価損益(△は益)	25,000
売上債権の増減額(△は増加)	362,516
たな卸資産の増減額(△は増加)	317,674
仕入債務の増減額(△は減少)	△120,746
為替差損益(△は益)	△352,783
その他	△295,855
小計	1,745,482
利息の受取額	40,880
利息の支払額	△5,465
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△589,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,191,161
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△75,042
無形固定資産の取得による支出	△61,755
投資有価証券の取得による支出	△101,200
投資有価証券の売却による収入	151,915
定期預金の預入による支出	△3,500,000
定期預金の払戻による収入	2,501,347
保険積立金の積立による支出	△70,025
保険積立金の解約による収入	617,807
その他	3,617
投資活動によるキャッシュ・フロー	△533,334
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	950,000
長期借入金の返済による支出	△6,082
自己株式の取得による支出	△173
配当金の支払額	△491,439
財務活動によるキャッシュ・フロー	452,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	106,470
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,216,601
現金及び現金同等物の期首残高	5,480,656
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	162,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,859,812

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)

	歯科製品 関連事業 (千円)	工業製品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,207,035	343,440	165,922	4,716,397	—	4,716,397
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,207,035	343,440	165,922	4,716,397	—	4,716,397
営業利益(又は営業損失)	1,697,581	109,319	46,552	1,853,453	(669,265)	1,184,187

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

- (1) 歯科製品関連事業……治療用ハンドピース、技工用マイクロモーター&ハンドピース、外科用ハンドピース、部品その他
(2) 工業製品関連事業……手作業用グラインダー、機械装着用モーター&スピンドル、部品、商品(先端工具)
(3) その他事業……修理

3 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等 4.その他 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 ②」に記載の通り、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。なお、これによるセグメント情報に与える影響は、従来の方によった場合と比較して当第1四半期連結会計期間の歯科製品関連事業の営業利益が、176,329千円、工業製品関連事業の営業利益が、12,987千円それぞれ減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「定性的情報・財務諸表等 4.その他 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 ③」に記載の通り、当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。なお、これによるセグメントに与える影響は軽微であります。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

	日本 (千円)	北アメリカ (千円)	ヨーロッパ (千円)	アジア (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,151,284	275,320	1,077,044	124,208	88,540	4,716,397	—	4,716,397
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	722,875	—	—	—	—	722,875	(722,875)	—
計	3,874,160	275,320	1,077,044	124,208	88,540	5,439,273	(722,875)	4,716,397
営業利益(又は営業損失)	834,474	45,003	216,120	10,108	△2,334	1,103,372	80,815	1,184,187

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北アメリカ …… アメリカ

ヨーロッパ …… ドイツ、フランス、イギリス、スペイン

アジア …… 中国

その他 …… オーストラリア

3 当第1四半期連結会計期間より、NSK OCEANIA PTY. LIMITEDを連結の範囲に含めたことに伴い「その他」を新設しております。

4 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等 4.その他 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 ②」に記載の通り、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。なお、これによるセグメント情報に与える影響は、従来の方法によった場合と比較して当第1四半期連結会計期間の日本の営業利益が、189,316千円減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「定性的情報・財務諸表等 4.その他 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 ③」に記載の通り、当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。なお、これによるセグメントに与える影響は軽微であります。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

	北アメリカ	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	1,057,010	629,861	1,426,790	571,046	3,684,709
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	4,716,397
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	22.4	13.4	30.2	12.1	78.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ …… アメリカ、カナダ

(2) アジア …… 中国、韓国、シンガポール、インド、香港、台湾

(3) ヨーロッパ …… ドイツ、フランス、イタリア、スイス、ポーランド、イギリス

(4) その他の地域 …… オーストラリア、イラン、南アフリカ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期要約連結損益計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成20年12月期 第1四半期)
I 売上高	5,972,643
II 売上原価	2,231,135
売上総利益	3,741,508
III 販売費及び一般管理費	1,480,528
営業利益	2,260,980
IV 営業外収益	106,523
V 営業外費用	687,315
経常利益	1,680,188
VI 特別利益	—
VII 特別損失	1,330
税金等調整前四半期純利益	1,678,858
法人税、住民税及び事業税	563,650
法人税等調整額	54,010
少数株主利益	5,874
四半期純利益	1,055,323